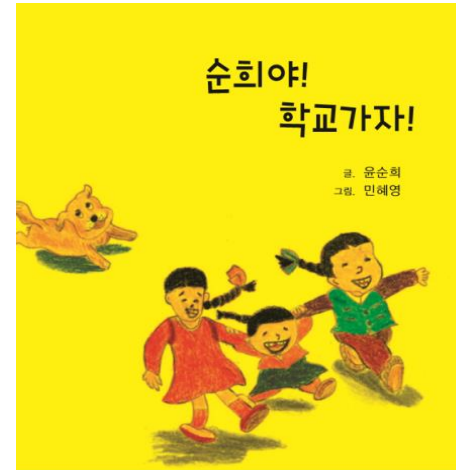


[민간단체 자체개발 교과서]



[民間団体作成教科書]



□ 할머니가 들려주는 그림동화

- 제목: 순희야! 학교가자!
- 발행연도 : 2014년
- 교재개발기관: 청주 일하는 사람들 (국가평생교육진흥원 지원)
- 내용 :
 - 문해학습자의 어린 시절 추억이 담긴 그림동화를 통해 손자손녀 세대와의 소통 및 유대감을 강화
 - 문해학습자들 삶의 이야기를 다룬 친화적 내용이므로 읽기 교재로도 적합

□ おばあちゃんが聞かせてくれる絵本

- 題名: スニちゃん! 学校行こう!
- 発行年度 : 2014年
- 教材開発機関: 清州働く人々 (国家平生教育振興院支援)
- 内容 :
 - 識字学習者の子どもときの思い出が込められた絵本を通して孫世代とのコミュニケーションと繋がりを強化
 - 識字学習者の人生を取り上げた内容で、学習者に親和性のある内容であるので、読む教材としても適している。

순희야! 학교가자!

글. 윤순희
그림. 민혜영

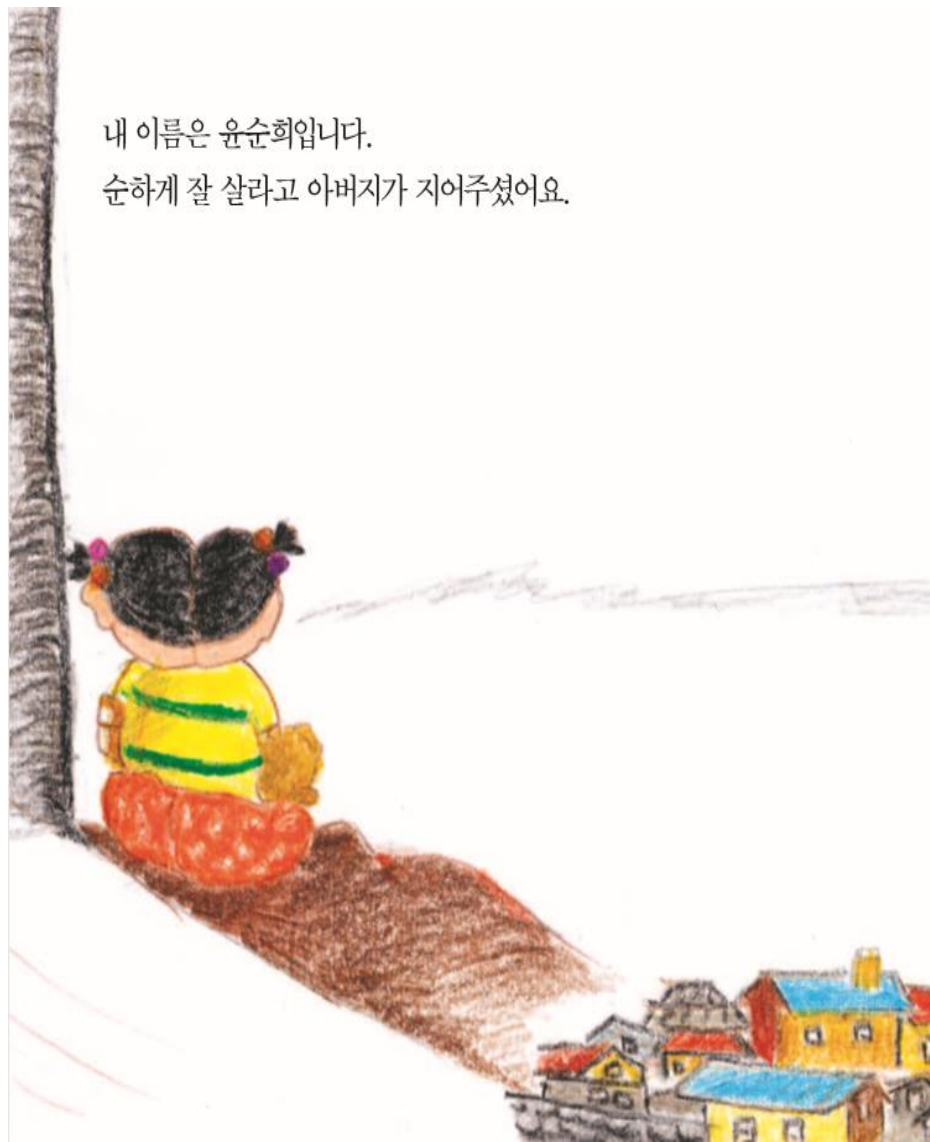


スニちゃん！
学校行こう！

文: ユン・スニ
絵: ミン・ヘヨン



내 이름은 윤순희입니다.
순하게 잘 살라고 아버지가 지어주셨어요.



私の名前は、ユン・スニです。
素直な子になるようにと、お父さんが付けてくれました。



나는 셋째 딸이에요.

셋째 딸은 선도 안보고 데려간다고 해요.

그러나 오빠, 언니가 있고 동생도 있다 보니

나는 뒷전일 때가 많아 참 서운해요.

그래서 입을 삐죽 내밀고 투정을

부리면 엄마가 야단을 치죠.

‘엄마 미워!’

그 말은 속으로만 소리치지요.



私は、三番目の娘です。

三番目の娘は、見合いもせず、嫁にするといわれます。

でも、お兄ちゃんとお姉ちゃんがいて、また下には弟や妹たちもいるので、

私は後回しにされることが多く、本当に寂しかったです。

それで口をとがらせてだだをこねると、母親から叱られます。

「お母ちゃんなんか、きらい！」

それは、心の中で叫びました。



봄이 왔어요.
산에 진달래가 분홍색으로
피어나기 시작했어요.



春がきました。
山にツツジの花が咲き始め、
ピンク色になりました。



함께 놀던 친구들은 학교에 간다고 자랑을 하는데
나는 갈 수가 없어요.
아버지가 돌아가시고 나서 엄마가 학교에 보낼 수 없다고
하셨거든요.

一緒に遊んでいた友達は学校に行くと言っているのに、私は行くことができませんでした。
お父さんが亡くなって、母から学校に行かせることはできないと言われました。



엄마를 따라 밭으로 가는데 친구가 책가방을 메고 학교에
가는 것을 봤어요.

“순희야! 너 어디가?”

“.....”

나는 대답을 하지 못하고 엄마만 부지런히 따라 갔어요.

‘나쁜 엄마, 미워! 나도 학교 가고 싶은데.....’

엄마의 뒷모습에 대고 혼자서 중얼거렸어요.

母に連れられ、畑に行くときに、友達がカバンを
背負って学校に行くのを見ました。

“スニちゃん、あなたはどこに行くの？”

“.....”

私は答えることができなくて、母の後ろを一所懸命
についていきました。

「ひどいお母ちゃん、ほんとうにきらい！私も学
校に行きたいのに.....’

母の背中に向かって一人でつぶやきました。



콩을 심는 밭둑가에 앉아서 나는 힘껏 돌맹이를 내려쳤어요.
화가 나는 마음이 조금 가라앉았어요.
산새가 재재쿨재재쿨 소란스럽게 지저귀다가 내 돌팔매질에
잠시 조용해졌어요.



豆を植える畑に座って、私は力いっぱい石を投げました。

怒っていた気持ちが少しは落ち着きました。
山鳥が物騒がしくさえずっていましたが、私の
つぶてうちにしばらくの間、静かになりました。



엄마는 아무런 말도 없이 부지런히 호미를 놀리며 일을 했어요.

“순희야, 너도 학교에 가고 싶지?”

콩을 다 심고 나서 엄마는 수건을 벗어 몸에 묻은 먼지를 털어내면서 말했어요.

“.....”

“나중에 보내줄게. 나중에.....” 엄마의 목소리는 힘이 없어요.



母は何も言わず、忙しそうに草刈鎌を動かしながら仕事をしていました。

「スニ、おまえも学校に通いたいだろう？」

豆を植え終えてから、母は頭の手ぬぐいはずして、体についていた土を払いながら言いました。

「.....」

「後になったら学校に行かせるよ、あとでね...」

母の声には力がありませんでした。



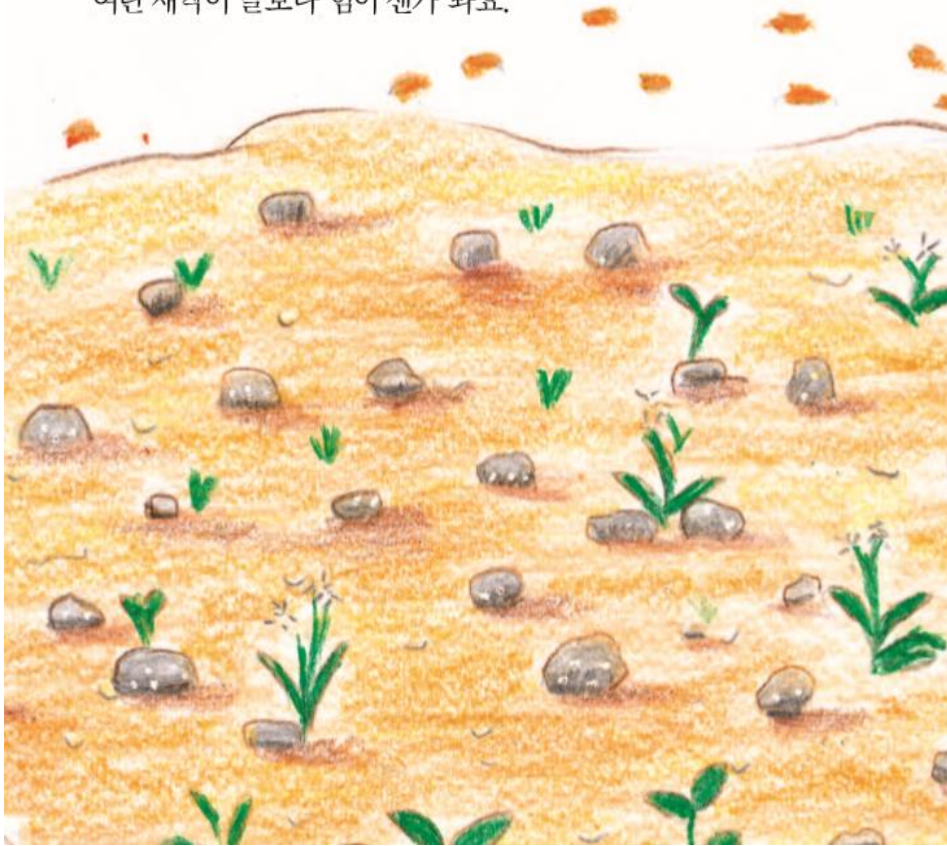
‘그래, 나중에 나중에 나도 학교에 갈 거야.’
‘예쁜 원피스를 입고 머리도 땋아서 묶고 책가방을 메고
학교에 갈 거야.’
나는 굳게 결심했어요.



「そう、あとで、あとで、私も学校に行く」
「きれいなワンピースを着て、髪も三つ編みにし
て、カバンを背負って学校に行く」
私は強く心に決めました。

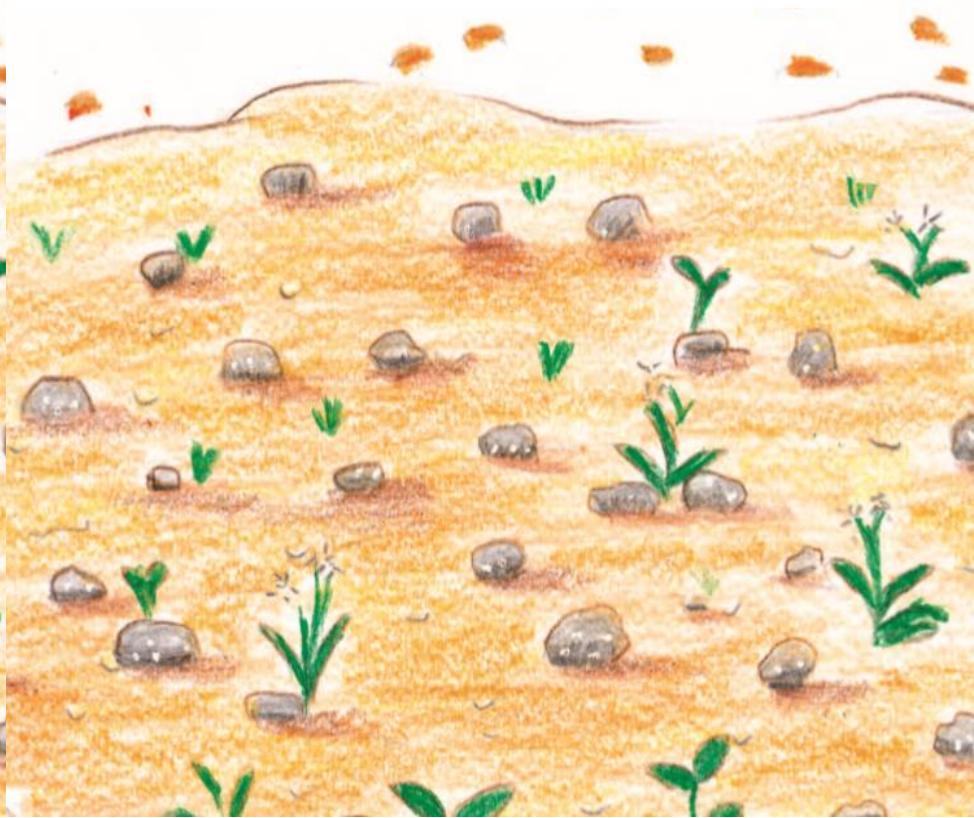


자갈밭 돌틈을 뚫고 작은 새싹들이 뽀죽이
고개를 내밀고 있네요.
여린 새싹이 돌보다 힘이 센가 봐요.



砂利の間を突き抜けて、小さい芽がつんと
頭をもたげています。

小さい新芽は、石より力が強いようです。



“순화야 학교 가자~”

사립문 밖에서 친구들이 부르는 소리가
들려오고 있는 것 같아요.

나뭇가지에서 산새들이 다시 즐겁게
노래를 시작했어요.



「スニちゃん、学校行こう~」
枝折り戸の外から友達が呼ぶ
声が聞こえてきそうです。

木の枝の上で山鳥たちが、再
び楽しく歌を歌い始めました。

